

第3回桑名市総合計画審議会 会議概要

<p>日時・場所</p>	<p>平成25年11月19日(木) 18:00~20:00 桑名市役所本庁舎 5階中会議室</p>
<p>出席者</p>	<p>委員：14名 市：2名 事務局：5名</p>
<p>会議次第</p>	<p>1 副市長あいさつ 2 事項 (1) 10月27日開催 地域会議の報告について【資料1】 (2) 施策の現状と課題について 3 その他</p>
<p>概要 (主な意見)</p>	<p>2 事項 (1) 10月27日開催 地域会議の報告について ・桑名市役所本庁舎で開催された地域会議について、テーマごとに参加者から出された意見について事務局から報告をした。 (2) 施策の現状と課題について</p> <p>【中央集権型から全員参加型市政に】 (市民と行政のパートナーシップ) (男女共同参画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名市の自治会長の大半は男性であり、色々な会議においても女性の参加が少ないのが現状である。市民の声として全体を網羅した現状と課題としていくべきである。 ・「男女共同参画」というものの、実態の生活の中ではうまくいっていないのが現状であるのではないかと。 ・子育てや家事と仕事の両立は、男女共同参画と関係が深い。男性や(育児世代ではない)社会がフォローする仕組みが必要。 ・項目ごとのタテの施策だけを見るのではなく、女性が参画できる環境づくりが大切である。 ・子育てに対する支援であったり、男性が子育てに参画しやすい環境作りなど、他の施策との横の連携、連動についてもしっかりと書き込んでいただきたい。 ・桑名市は全国的に見て、女性が活発に働ける環境であるのか。また、桑名市の待機児童はあるか。 ・自分が四日市市から引っ越してきた際、公立保育所は年度途中の受入れをしてもらえず、民間の保育所に預けた。また、年度当初も入園式までの間は預かってもらえないと言われ、なんとかお願いして4月1日から入園できた。行政の都合に母親が合せなければならない事が多いため、もう少し柔軟に対応してもらいたい。 ・就職してからでないと保育園に入ることができない。そのため、仕事を探そうとしても保育園に預けることができない。そういう意味で待機児童に算入してもらえない子どもがいるのも事実である。 ・他市ではできていないきめの細かいサービスを行えば、子どもを育てる

人たちに、やさしい桑名市となり、市としての特徴がでてくるのではないか。

- ・ 子供は、誕生してからでないで保育所入所の手続きができないと聞いている。妊娠中から入所手続きに応じてもらえるなどの対応を検討してはどうか。

(コミュニケーション活動)

- ・ 情報公開について、公開判断基準については市の方で検討し、市民が公平に情報を得られるような取り組みを進めていただきたい。
- ・ 市からの情報について、情報を受ける側が老人であるとか、仕事が相当忙しい方々にとっては、上手く伝わらない場合がある。情報を送る側である市は、いろいろな伝え方を考えていただきたい。

(地域福祉)

- ・ 人材確保について、民生委員については3年の任期であるが、任期満了時に次の民生委員が見つからないのが現状である。
- ・ ボランティア団体についても、市の仕事を担っている部分も多いが、年々仕事量は増えている。重複している業務も多いため、仕事量を整理して減らしていけば、ボランティア活動を行う人も増えるのではないか。
- ・ 地域福祉を考えた時に、全てがボランティア、全てが無償の善意でというわけにはいかない。多少の見返りを含め、ボランティア団体がある程度の資金を持って継続的に取り組める仕組みを作っていくことも必要である。

(人権政策)

- ・ インターネットの世界での差別発言等は深刻である。
教育の現場で強化していくことが重要である。また、企業においても社員教育などで人権への理解を深めるべきであり、市でも積極的に啓発していくことが重要。
- ・ 知らない、無理解な社会になりつつある現代では、キャンペーン活動やPR活動だけでは足りず、社会常識、一般常識として教育していくべきである。

【命を守ることも最優先】

(防災)

- ・ 長島のあたりから城南地区まで、河川の防波堤の工事が進んでおり、残り250mが残るのみと聞いている。また、液状化の問題もあるため積極的に工事を進めていただきたい。
- ・ 県との連携や隣接他市町との連携は防災について特に重要であるが、相互救済的な体制について桑名市の状況はどうか。
- ・ 三重県では、県と市町とで連携協議会を設立しており、災害にあたってはオール三重県で支えあうことを確認している。桑員地域では2市2町で防災協定を締結している。
- ・ 高潮についての対策が項目として挙げられていないので補足してはどうか。
- ・ 医療対策や避難場所、物資の確保については実際に起こる災害を想定した備えが必要である。
- ・ 集中豪雨に関する対策のコメントがない。長島地区は輪中であるため、排水ポンプがないと浸水してしまう。排水ポンプの処理能力にも限界があるため、浸水対策についてもしっかりと考えていただきたい。
- ・ ポンプの処理能力が高くても、長島地区の場合、雨水が集まる排水路がいっぱいになってしまう。排水路の整備も強化していただきたい。
- ・ 地域の特徴に合わせたきめ細かな対策をする必要がある。
世界中で、想定をはるかに超えた災害が発生している。過剰にする必要はないが、今までの想定よりもさらに上げるということを形として表した方がよい。
- ・ 災害弱者と呼ばれるか方への対応についても考えた対策を取っていただきたい。

(防犯・交通安全)

- ・ 近年ストーカー行為による被害が増えてきている。桑名市の人が関係した

ストーカー被害も発生している。ストーカー対策については、こちらの施策に入るのですか。

- ・ 犯罪については警察との連携が必要となるが、行政で取り組める課題については検討が必要と考える。

(消防・救急)

- ・ 桑名市は救急車が現場へ到着し、病院へ搬送される速さは県下でもトップクラスであり評価している。たらい回しも少ない。
ただ、基幹病院が現在ないこと。病に倒れた人が社会復帰する率も全国平均より低い。新病院が整備されることにより救命率が向上していくことを期待するが、一方でコンビニ受診も減らさなくてはならない。小児救急についても今後の課題である。子供を3人育てられるまちにつながる。

(消費生活)

- ・ インターネットも普及し、子どもたちにも身近に関係することであるため、消費生活に関するリスクや情報を学習する場を子どものころから設けるべきであり、これからの課題として取り上げていくことが必要。

(環境・廃棄物対策)

- ・ 環境学習について、どのような取り組みをしているのか。
- ・ ゴミの量については、全国と比較できるような表現にしていきたい。
- ・ 下水道の普及が課題か。
- ・ ゴミを出す日は種類によって決まっているが、くるくる工房のように、出したい日にだせる施設はたいへん助かっている。個々の生活の在り方が多様化している現在、不規則な生活の住民にはありがたい施設と思う。
- ・ 桑名市の現行の良い制度については有効に活用し伸ばしていくことが必要。また、美化活動や公共施設でのマナー等も教育の現場で教えていくべきと考える。

(障害者(児)福祉)

- ・ 特別支援学校の事業主として、授業風景を観覧することがあった。先生も生徒もいきいきと授業や作業に取り組んでいたのが印象的であった。状況を知ることも大切である。
- ・ 障害者雇用については、国から雇用率の数値目標を与えられているが、中小企業も積極的に参加していきたい。障害の態様も様々であり、障害者がすべて同じようにとらえるのではなく、個々の個性を伸ばしていくことが有効と考える。
- ・ 社会人の世界でも、身体障害者だけでなく、現在では精神障害者のフォローが課題となっている。特に若者の離職率が高く、適応障害のために職場になじめず、せっかくの優秀な人材が短期間で退職し、フリーターとなっているようなケースがある。
- ・ 雇い主である企業側が従業員をケアすることで人材を上手に活かし、本人・企業側ともに成長できることが理想。
- ・ 行政が企業と若者の間で就職・就労の橋渡しができれば、従業員の企業への定着率も向上する。

(医療保険・生活保護)

- ・ 国民健康保険税の収納率は厳しいながらも順調に進んでいると思う。
課題としては、特定健康診断について、普段、病院通いをしている人が健診を受けているのが現状であり、そもそも、普段から健康診断を受けない健康な人々をいかに受診させるかが課題。
- ・ 低所得者の国民健康保険税の額が高いという問題がある。国保収納率が低いのもそこに問題があると思う。
- ・ 国へ提言していくことくらいかなと思います。福祉関係は、弱者対策をよろしくお願いします。財政面の援助は、今の時代に市としては難しいのかなと思いますが。

(地域医療・健康づくり)

- ・ 少子高齢化対策として、婚活は有効な手段だと思う。統計からみると、40歳以上の男性・女性に未婚率が高い。これらの人々が将来的に高齢化する

と社会的弱者になってしまう可能性がある。

- ・人生の伴侶がいることは老後の生活にも安心をもたらす。婚活して出産し子どもを育てることだけでなく、将来の社会的弱者を減らすことにもつながる。市を挙げて少子化対策も含め婚活を進めてほしい。
- ・商工会議所としても婚活イベントを行っている。市とも連携できると良いと思う。
- ・特定健康診断の受診率の向上について、年度当初に受診案内等が送られているが、情報量が多すぎてどこを見れば良いかわからないし、申込期限も短い。せめて、受付期間を長くしてもらえればと思う。
- ・高齢者にもわかりやすくする工夫をしてもらいたい。
- ・現在は情報通信が大変発達している。個人情報保護の観点があるので難しいかもしれないが、市民と市役所が相互に情報を交換することにより、どのような検診を受けているのか把握し、年齢によるハンディーキャップが出ないような仕組みを考えてはどうか。

(上下水道)

- ・陸前高田市の方に聞いたところ、災害時に最も困ったことは、やはりトイレだとのこと。災害に強い下水道の整備が求められる。

【桑名をまちごとブランドに】

(文化・スポーツ振興)

- ・健康増進にからめて。自分は陽だまりの丘に住んでいるが、夕方になると団地の山側の散歩コースを利用して犬の散歩やウォーキング・ジョギングをする住民がたくさんいる。
- ・例えば、ジョギングコース、散歩コースを観光施設とからめたり、さらに高齢者の健康増進にも活用した取り組みにしてはどうか。
- ・他の自治体のケースであるが、防災に関係させて、自宅から避難所までを散歩コースとし、普段から避難所への所要時間を意識してもらおう活動をしているところがある。
- ・スポーツについては、観光、防災などいろいろなものと関係させて、健康増進につなげていくという提案は有効だと思う。
- ・桑名には、桑名が誇る石取祭や文化・芸術もある。さらに誰もが楽しめる取り組みが必要。例えば伊勢なら「伊勢音頭」があるように、桑名市には『桑名音頭』『ゆめはまちゃん音頭』『桑名小唄』など、ご当地のものがあるので、外へ発信する一つのアイテムとしてPRできれば良いと思う。
- ・桑名市民が一体となるために歌や音頭を使うのは良いかもしれない。

(生涯学習)

- ・放課後対策としてどのような取り組みをしていますか。
- ・さらに充実をさせ、そういった場で、歌などを教えるのも良いかもしれない。

(農林業・水産業・商業・工業)

- ・水産業、工業については、具体的な名前が明記されているが、農林業について、具体的な産物があがっていない。たけのこ・みかん・菜花などを例示しても良いのではないか。
- ・鋳物業については、新商品を続々と製造されている。デザインもプロのデザイナーに依頼し、家事をする女性にも優しいものを作り出している。PRとしても、家庭画報に特集を組んでいただいて、全国に発信した。ただ、こういった桑名の鋳物の取組を、市民の方がどれだけご存知かといえば疑問が残る。
- ・外部へのPRだけでなく、市民への周知も重要だと思う。桑名を知ってもらうことで、他の産業にも波及させていきたい。
- ・総合計画を見直す時期に、もう一度、桑名市民に桑名のことを知ってもらうことも重要である。
- ・現在、日本国内で食品の偽装が問題となっているが、産業機関では製品のチェック機能を強化し、品質を保障することも重要である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・桑名をブランド化するという非常に良いプロモーション活動を行っていく上で、ブランド化していくには、製品の質の向上と一定水準の確保が求められる。 <p>(都市デザイン・プロモーション活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑名駅に降りると、桑名駅前はとても寂しい感じがする。 ・桑名を PR する時の素材は何を使っているのか。 ・自治体では、通念使える観光地として町並を採用しているところがある。桑名＝この街並みというものがあるとよい。 ・桑名市は城下町として発展してきた歴史があるが、料亭が残っているまちなちも珍しい。 ・古い町並、伝統芸能文化を残して、他の観光資源とも連携させていってはどうか。 ・桑名の人や桑名のことを知ることは、プロモーション活動へつながる。今こそ、もう一度、桑名のことを見つめ直そうという運動を起こすのも有効。 ・桑名市は県の一番北に位置しており、三重県との連携だけでなく他県他市との連携も念頭に置いておくべきである。 ・古い町並と料亭の話があったが、芸者さんや料亭というどうしても男社会のイベントというイメージがある。女性が気軽に参加できる観光資源にしてほしい。
<p>担 当 課</p>	<p>市長公室 政策経営課</p>